

タック(株)

大垣市・情報通信業

従業員数 / 男性307名 女性87名 計394名 ※令和5年11月現在

**エクセレント
POINT**

- ①「育休明け保健師面談」を実施し、円滑な復帰をサポート
- ②男性社員の育児休業取得を促し、これまでに延べ18名が取得
- ③多様な働き方の実現のためフリーデスクを取り入れ、在宅勤務活用を推進



2023年8月に産後パパ育休を取得し、子どもたちに囲まれ満面の笑みを浮かべる坂井田靖さん。

育休取得も復帰も円滑に

タックでは、2010年から育児休業を2才になるまで延長したり、育休中も賞与を支給するなど、早い段階から子育て支援に取り組んでいる。育休取得を促すだけでなく、育休後の職場復帰サポートにも注力。復帰1〜2ヶ月前には、面談により希望の働き方を確認し、復帰1週間後にも、保健師による健康指導や両立支援相談を行う「育休明け保健師面談」を実施。「復帰直後は生活の変化が大きく、無理をしがち。保健師が専門的な目で相

談にのることで、安心して復帰できると好評」と話すのは、企画管理部の安藤玲子さん。

復帰後は、就学前までの育児短時間勤務や、小学5年生になる前までのフレックスタイム制が利用可能。また気軽に年休が取れる環境を目指し、5人程度のチーム体制で、休み中の業務をサポートしている。男性の育休取得については、「産後パパ育休(出生時育児休業)」の新設に伴い、23年度の取得者は増加。社内報で育休の様子を紹介し、これまでに延べ18名の取得実績がある。23年8月に育休取得した小此木拓也さんは「2人育児の大変さを痛感。それ以上に子どもたちと一緒に過ごせたことでより家族の絆が深まり、妻からも助かったと言ってもらえたので、育休を取得して良かった」と話す。

また、通勤・移動時間の有効活用



毎年、全社員に向け女性特有の病気に関するセミナーや乳がん触診の体験会を開催。予防・早期発見のための啓発活動を継続している。

と共働きの社員の増加による子育てや介護などのライフスタイルに合わせた多様な働き方を支援するため、21年7月から在宅勤務制度を導入、23年8月から段階的にオフィスをフリーデスク化し、在宅勤務の活用推進をしている。今後も多様な働き方に対応できるように社員の声を聞きながら積極的に取り組む構えだ。